
そしてみんなにわすれられて

青桐十和

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

そしてみんなにわすれられて

【Nコード】

N0641Z

【作者名】

青桐十和

【あらすじ】

これは、ちよつとオタクな少女の、必死に生きた人生の記録。彼女の人生はいつ狂ってしまったのか。あの夏休みの日？それとも、生まれてきたこと自体が？

この前見た夢を元に書いているので、かなりぶっ飛んだ展開になります。主人公の女の子は、オタオタしくて、少し腐っています。

こんにちは。

私に気付いてくれて。ありがとう。

あなたも、私の仲間なの？

……ああ、違うのか。

あついや、別に、駄目な訳じゃないんだ。

ただちよつと、残念だったかな……。

仲間が出来たのかと思って、ちよつと期待しちゃった。

でも、あなたは違うみたいだね。

ただ、紛れ込んでしまっただけ。

ここにいてはいけない人。

今ならまだ戻れるよ。

出口まで案内してあげる。

結構遠いから、しばらく歩くよ。

そうだ、こんなお話があるんだ。

きいてくれる？

+

むかしむかし、あるところに、一人の元気な女の子がいました。

女の子は、毎日いじめられていました。

ある日、女の子は消しゴムを隠されてしまいます。

「わたしはわるくない。わたしをいやがるみんながいけないんだ。だれか、たすけて。」

そうつぶやきました。

すると、空から声が降ってきました。

「そう。きみはわるくない。ぼくがきみのねがい、かなえてあげる。」

そう声はいいました。

「ほんとう?」

女の子はたずねます。

「ああ、ほんとうだよ。ほら、もうきみはかわった。あしたのきみはかがやいているよ。」

そう声が返しました。

女の子は、みんなのところへいきました。

「わたしもあそんでいい。」

女の子はみんなにききました。

「いいよ。」

「こっちにおいでよ。」

みんなは笑顔でそういつてくれました。

「ありがとう。ありがとう。」

それから女の子は、幸せに暮らしましたとさ。

（後書き）

こんにちは。 十和といいます。

あらすじの通り、このお話はこの前、私自身がみた夢を元にしていきます。 どうしてこうなった。

あまり明るい話ではないですが、生暖かい目で見守ってください。

感想、誤字脱字その他諸々（その他って何が入るんだろう…）などありましたら、送って頂けるとうれしいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0641z/>

そしてみんなにわすれられて

2011年12月2日15時53分発行